

名称 コウクベン

他名等 イヌ

部位等 陰莖・睾丸 備考

学名(科名) *Canis familiaris* Linné (Canidae) イヌ科 [赤松和漢薬および中薬大辞典に牡狗陰莖(ボクインキョウ、陰莖)と狗陰卵(クインラン、睾丸)が記載されている]

生薬名、基原動物和名等 イエイヌ

医薬品として使用実態があるか Yes

強壯剤に配合されている。

例：至宝三鞭丸(八ツ目製薬)に1日量あたり71mg配合されている。

毒性データ(LD50等) RTECSに無し。

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No
主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

広狗鞭としては記載されていないが、広東省広州産が有名なためこのように呼ばれることがある。

Botanical Safety Handbook 記載なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか Yes

androsterone

評価：A

雄の生殖器であるから、指定医薬品に相当する男性ホルモン androsterone を含有している。他名等にボクインキョウとクインランを追加すべきと考えられる。

名称 ゴオウ

他名等 ウシ

部位等 胆嚢中の結石 備考

学名(科名) *Bos taurus* Linné var. *domesticus* Gmelin (Bovidae) ウシ科 (局方)

生薬名、基原動物和名等 ウシ 生薬名 牛黄

医薬品として使用実態があるか Yes 局方

強心、鎮静、鎮痙、解熱、解毒薬。

毒性データ (LD₅₀ 等) RTECS に無し。

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

生薬学第3版(廣川書店): cholic acid (5-11%)(LD₅₀ = 4950 mg/kg bw, mouse, oral), deoxycholic acid (ca. 2%)(LD₅₀ = 1 g/kg bw, mouse, oral), chenodeoxycholerol, bilirubin (LD₅₀ > 15 g/kg bw, mouse, oral)

原色和漢薬図鑑(下 p269): bilirubin 系色素(bilirubin, biliverdin など)72-76%, cholic acid および desoxycholic acid からなる胆汁酸 4-6%, 抱合型胆汁酸 3-4%など。アミノ酸

Horii *et al.*, *Chem. Pharm. Bull.* 26, 1607-1610 (1978).: cholesteryl esters of fatty acids, lithocholic acid(LD₅₀ = 3900 mg/kg bw, mouse, oral), methyl cholate, methyl deoxycholate, methyl chenodeoxycholate, oleanolic acid, ursolic acid

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 記載なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: B

局方に収載されている重要生薬であり、医薬品としての使用も多く、専ら医薬品にしておくべきである。

名称 ココツ

他名等 トラ

部位等 骨格 備考 ワシントン条約で輸入が禁止されている

学名(科名) *Panthera tigris* Linné (Felidae) ネコ科

生薬名、基原動物和名等 トラ 生薬名 虎骨

医薬品として使用実態があるか No

鎮痛薬、鎮痙薬として用いられていたが、現在輸入が禁止されている。

毒性データ (LD50 等) RTECS に無し。

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

リン酸カルシウム、炭酸カリウム(原色和漢薬図鑑(下 p314))

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 記載なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか(情報がある場合のみ)

評価: -

ワシントン条約で輸入が禁止されており、評価の対象外である。

名称 コツズイ

他名等

部位等 ヒト骨髄 備考 ウシの骨髄は「非医」

学名(科名) *Homo sapiens* Linné ヒト科 (Homonidae)

生薬名、基原動物和名等 ヒト

医薬品として使用実態があるか Yes

移植などに用いる。

毒性データ (LD50 等) RTECS に無し。

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 記載なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: A

特定生物由来製品であり、専ら医薬品として使用すべきである。

名称 ゴレイシ

他名等

部位等 ムササビ科動物の糞 備考

学名(科名) ①*Trogopterus xanthipes* Milne-Edwards および②*Pteromys volans* Linné とそれらの近縁種 (Sciuridae) リス科 [中薬大辞典]

生薬名、基原動物和名等 ①ミミゲモモンガ ②タイリクモモンガ 生薬名 五霊脂

医薬品として使用実態があるか Yes

小城製薬などで取り扱っている。

毒性データ (LD₅₀ 等) RTECS に無し。

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか Yes

pyrocatechol (LD₅₀ = 100 mg/kg bw, mouse, oral) (Yang *et al.*, *Yaouxue Xuebao*, 22, 756-760 (1987).)

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No
主要な二次代謝産物等

樹脂、尿素、尿酸 (原色和漢薬図鑑 (下 p262))

cytotoxic triterpenes: 3-*O*-*cis*-*p*-coumaroyltormentic acid, pomolic acid, 2 α -hydroxyursolic acid, jacoumaric acid (Numata *et al.*, *Chem. Pharm. Bull.* 37, 648-651 (1989).)

non-cytotoxic triterpenes: maslinic acid, 3-*O*-*trans*-*p*-coumaroylmaslinic acid, ursolic acid (TDLo = 60 mg/kg bw, rat, i.p.), tormentic acid, euscaphic acid, 3-*O*-*trans*-*p*-coumaroyltormentic acid Numata *et al.*, *Chem. Pharm. Bull.* 37, 648-651 (1989).) triterpenes: serratagenic acid, goreishic acid I, II, III (Numata *et al.*, *Chem. Pharm. Bull.* 38, 942-944 (1990).) protocatechuic acid (LD₅₀ > 800 mg/kg bw, mouse, i.p.) (Chen *et al.*, *Shanxi Daxue Xuebao, Ziran Kexueban* 23, 260-262 (2000).)

benzoic acid (LDLo = 500 mg/kg bw, man, oral), 3-carene-9,10-dicarboxylic acid, uracil, *m*-hydroxybenzoic acid, hypoxanthine (LD₅₀ = 750 mg/kg bw, mouse, i.p.), allantoin, tyrosine, wulingzhiic acid (Ref. 5) 3-hydroxy-6*H*-dibenzo[*b,d*]pyran-6-one, 3,8-dihydroxy-6*H*-dibenzo[*b,d*]pyran-6-one, 3,9-dihydroxy-6*H*-dibenzo[*b,d*]pyran-6-one, 3,8,10-trihydroxy-6*H*-dibenzo[*b,d*]pyran-6-one (Jeong *et al.*, *Planta Medica* 66, 76-77 (2000).)

主要な生理活性

重要文献

Yang *et al.*, *Yaouxue Xuebao*, 22, 756-760 (1987). (pyrocatechol 含有)

その他注意すべき点

原色和漢薬図鑑によれば、諸文献（例：新訂和漢薬 p743（寒號虫））には（オオコウモリ科 Pteropodidae）の *Pteropus dasymallus* Temminck（オオコウモリ）および *Pteropus pselaphon* Lay.（オガサワラオオコウモリ）の糞とされているが、コウモリ科の動物は使用されておらず、ムササビ科の *Trogopterus xanthipes* Milne-Edwards が中心である。また、小城製薬 website では「*Trogopterus xanthipes* Milne-Edwards とヒソ（飛鼠） *Pteromys volans* Linne（ムササビ科）」とある。したがって、基原動物として *Trogopterus xanthipes* Milne-Edwards および *Pteromys volans* Linné とそれらの近縁種とする。

現在の分類ではリス科 (Sciuridae) である。リス科はリス亜科 (Sciurinae) とモモンガ亜科 (Pteromyinae, =ムササビ亜科 (Petauristinae)) に分類され、モモンガ亜科にはミミゲモモンガ属 (*Trogopterus* 属) とモモンガ属 (*Pteromys* 属) の他、ムササビ属 (*Petaurista* 属) などが含まれる。近縁種の範囲はモモンガ亜科と考えて良いであろう。

部位は「ムササビ科動物の糞」とされているが、現在の分類に合わせ、モモンガ亜科動物の糞とすべきであろう。

Botanical Safety Handbook 記載なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：A

劇薬である pyrocatechol の含有が報告されたことがあり、基原動物が摂取したのによって毒性の高い成分が含まれる可能性があるため、使用に注意が必要である。

名称 シベット

他名等 ジャコウネコ・レイビョウコウ 英名 civet

部位等 香囊腺から得た分泌液 備考

学名(科名) *Viverricula indica* Desm. コジャコウネコ (ジャコウネコ科、ジャコウネコ亜科)

生薬名 霊猫 レイミョウ (赤松和漢薬) 分泌液だと 霊猫香が対応

生薬名、基原動物和名等 ジャコウネコ: *Viverra zibetha* L. = *V. zibetha* L.; インドジャコウネコ *V. zibetha*, L. = *V. indica* Desm. の陰部腺囊 (以上赤松和漢薬)

医薬品として使用実態があるか Yes 六神丸、奇応丸の材料の一部 エスエスのエストロングヤングにシベットチンキ含有 滋養強壮成分として大衆薬に配合

毒性データ (LD50 等)

irridation data, cyclopentadecanone 500 mg, skin, rabbit moderate effect

oral, rat LD50 >5g/kg (muscone)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No
主要な二次代謝産物等

a series of macrocyclic ketones such as civetone and muscone: *Developments in Food Science* (1988), 18(Flavors Fragrances), 587-600

cyclopentadecanone (male civet cat), cyclotetradecanone, cyclohexadecanone, cyclohexadecanone, cycloheptadecanone, cycloheptadecanone, cyclooctadecanone, cyclooctadecanone, cyclononadecanone and cyclononadecanone (*Fenxi Huaxue* (1983), 11(10), 781-3)

Civetone (香料) (通常合成)

主要な生理活性

無毒、鎮心、安心、鎮痛、解疑、緩和 (赤松和漢薬)

重要文献

その他注意すべき点

シベットは、直接的には、インドジャコウネコのことを指すと考えられるが、本項では、他名等で、ジャコウネコ科全体をも含むことになると考えられる。4大動物香料のひとつ。

Botanical Safety Handbook なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: D

成分に関する安全性データが少なく、判断材料が乏しい。

名称 ジャコウ

他名等 ジャコウジカ 英名 musk

部位等 雄の麝香腺からでた分泌物 備考 ワシントン条約で輸入が禁止されている

学名(科名) *Mosches moschiferus* L. (赤松)

生薬名、基原動物和名等 ジャコウジカ 生薬名、麝

医薬品として使用実態があるか Yes 六神丸の成分

気つけ、息切れ、動悸を効能効果とする生薬製剤 (OTC) に配合

毒性データ (LD50 等)

RTECS oral, rat LD50 >5g/kg, i.p, mouse LD50 270mg/kg, i.v. mouse LD50 152 mg/kg, 以上 *Moschus ketone*

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか Yes

3 α -ureido-androst-4-en-17-one and 3 α -ureido-androst-4-en-17 β -ol, Androstane alkaloids (Chemical & Pharmaceutical Bulletin (2002), 50(5), 663-664)

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No
主要な二次代謝産物等

(R)-(-)-Muscone (3-methylcyclopentadecanone, I) the key perfumery component の合成 *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry* (2002), 66(6), 1389-1392 東大農北原先生

muscone, 5 α -androsta-3,17-dione and cholesterol, Studies on evaluation of Moschus, Toyama-ken *Yakuji Kenkyusho Nenpo* (1996), Volume Date 1995, 23, 83-89.

Musclide-A1, -A2, and -B, cardiotoxic potentiating principles from musk, *Tetrahedron Letters* (1991), 32(14), 1733-6, 富山医薬大, 門田先生

Free fatty acids and phenols (10%), waxes (38%), and steroids (38%) were the main groups of the secretion lipids.

Cholestanol, cholesterol, androsterone, Δ^4 -3 α -hydroxy-17-oxoandrostene, 5 β ,3 α -hydroxy-17-oxoandrostane, 5 α ,3 β ,17 α -dihydroxyandrostane, 5 β ,3 α ,17 β -dihydroxyandrostane, and 5 β , 3 α , 17 α -dihydroxyandrostane were isolated from the steroid fraction, *Journal of Chemical Ecology* (1987), 13(1), 71-83.

主要な生理活性

無毒, 麝香は、中枢神経系、殊に呼吸中枢及び心臓を興奮させる。少量で中枢興奮的に大量では抑制的に作用 (赤松)

Musclide-A1 [6-methyl-2,5-heptanediol 5-(hydrogen sulfate)] a novel calcium-dependent protein kinase activator derived from musk and its cardiotoxic potentiating action in guinea pig cardiac muscles, *Phytotherapy Research* (1991), 5(4), 159-62, Kimura, Masayasu 他、富山医薬大

Electrophoretic analysis of androgenic action of musk, *Rinsho Kagaku* (Nippon Rinsho Kagakkai) (1981), 10(3), 218-25

The pharmacological activity of oriental drugs. VI. The combined actions of several crude drugs present in Rokushingan on the cardiovascular system, *Yakugaku Zasshi* (1968), 88(2), 119-24, 木村正康先生

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

androgenic compoundsを含む

評価：A

指定医薬品相当の androgenic compounds を含む。

名称 ジャドク

他名等 ヘビ 英名 Snake venom

部位等 蛇毒 備考

学名 (科名)

生薬名、基原動物和名等 烏蛇毒 (タイワンコブラ毒)、蝮蛇毒 (*Trimeresurus* sp. ハブ属蛇毒) 他

医薬品として使用実態があるか No

但し、Ancrod (Malaysian pit viper, *Calloselasma rhodostoma*)は脳卒中薬Viiprinexとして市販へ(fibrinogenの血中濃度低下作用)

毒性データ (LD50 等)

RTECS snake で391件ヒット

Trimeresurus で28件 LD50 i.p. mouse 3.6mg/kg, S.c. 4.6mg/kg, i.v. 0.7mg/kg 他多数、oralのdataはなし

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか Yes

神経毒、心臓毒、筋肉毒、出血毒等、中毒学概論 Anthony T. Tu著

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか 不明

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

神経毒(前シナプス性神経毒、後シナプス性神経毒)、心臓毒、筋肉毒

血液凝固阻害蛋白X-bp(明治薬大 森田他)

血管内皮細胞増殖因子

重要文献

赤松和漢薬に蛇毒の薬理活性等の記載が豊富p851-p861

中毒学概論 Anthony T. Tu, p229-p250

Hirotsu, S., *et al.*, Crystal structure of bitiscetin, a von Willebrand factor-dependent platelet aggregation inducer, *Biochemistry*, 40, 13592-13597 (2001).

その他注意すべき点

ウミヘビ科 (hydrophiidae), ナミヘビ科 (Colubridae), コブラ科 (Elapidae), クサリヘビ科 (viperidae), マムシ科 (Crotalidae)の5科が有毒ヘビ

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: A

毒薬相当である。

名称 ジリュウ

他名等 カッシュョクツリミミズ 英名 earthworm, lumbricus

部位等 全形 備考

学名(科名)「*Pheretima aspergillum* Perrier 又はその他近縁動物 (Megascolecidae) の内部を除いたものである」と局外生規に定義。付録には近縁動物が何を指すか指示なし。

土地龍 Limbrocoda (ツリミミズ科) のカッシュョクツリミミズ *Allolobophora caliginosa* trapezoids Ant. Druges; 広地龍 Megascolecidae (フトミミズ科) の *Pheretima asiatica* Michaelsen, *P. aspergillum* E. Perrier (*P. asiatica* と同一種という説もある) 以上難波和漢薬

毛足類ミミズ類 Lumbricomorpha, ミミズ属 *Pheretima* sp の虫体、糞土。主としてミミズ *P. communissima*, Goto et Hatai より採る。以上赤松和漢薬 蚯蚓 (キュウイン) として中薬大辞典には載っている。

生薬名、局外生規ではジリュウ 地竜 赤松和漢薬では蚯蚓 (地龍)

生薬名、基原動物和名等 前述

医薬品として使用実態があるか Yes 局外生規 解熱鎮痛剤アロピラリンS 大昭製薬等に配合
毒性データ (LD50 等)

RTECS *P. aspergillum*, mouse LD50 40.7g/kg (投与方法不明)

中薬大辞典 LD50 mouse 腹腔 95-115g/kg

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

CAでアルカロイド含むとの文献は見あたらない。

有毒成分があり、7-8月の受胎期には、此の毒性は最強となる。豚がこのミミズを食い過ぎると痙攣を起こすとの記述が難波和漢薬にある。

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No
主要な二次代謝産物等

a cadmium-binding protein: *Comparative Biochemistry and Physiology, Part B: Biochemistry & Molecular Biology* (1992), 103B(4), 929-32 これが難波和漢薬や中薬大辞典にある溶血作用物質 lumbritin かも知れないが、不明。

解熱作用物質 lumbrofebrin: Ogata, Akira; Mori, Huminae, *Yakugaku Zasshi* (1938), 58, 859-70 (in German 267-9); Ogata, Akira; Morimoto, Kagami; Mori, Huminae, *Yakugaku Zasshi* (1939), 59, 483-94.

Lumbritin (C₂₅₉.....), lumbrifebrine (チロシン誘導体 C₉H₁₈O₆N₂) 等の記載が難波和漢薬にはでてくるが、構造式は不明

主要な生理活性

解熱、気管支拡張作用、降圧作用の薬理作用があり、解熱、鎮痙、利尿、解毒薬として用いる(難波和漢薬)

中薬大辞典(0819)には、様々な臨床報告(慢性気管支炎、流行性耳下腺炎、高血圧、下肢潰瘍、骨折、丹毒、トラコーマ)がある。

重要文献

その他注意すべき点

健康食品（龍心DX）に、欧米原産の赤ミミズ（レッドウォーム 学名：*Lumbricus Rubellus*）血栓溶解酵素ルンブルキナーゼが配合されている。また、栗本慎一郎前衆議院議員がルンブルクスルベルス配合のシンクリールという健康食品を販売している。

Botanical Safety Handbook なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：B

局外生規に収載され、医薬品としての使用実態が多い。

名称 センソ

他名等 シナヒキガエル 英名 toad venom

部位等 毒腺分泌物 備考

学名(科名) ヒキガエル科 (Bufonidae) シナヒキガエル *Bufo bufo gargarizans* Cantor 又は *Bufo melanostictus* Schneider の毒腺の分泌物(局方)

アジアヒキガエル(シナヒキガエル) *Bufo bufo gargarizans* Cantor 及びヘリグロヒキガエル *Bufo melanostictus* Schneider の耳腺から分泌する乳液を集めて乾燥したもの。アジアヒキガエルのうち中国北部、沿海州、朝鮮半島に生息する者を特に *Bufo bufo asiaticus* Steindachner ということがある。また日本にはヒキガエル *Bufo bufo japonicus* Schlegel が生息するが市場性はない。(以上難波和漢薬)

生薬名、基原動物和名等 蟾酥 赤松では センジョ シナヒキガエル(アジアヒキガエル)

医薬品として使用実態があるか Yes 局方 六神丸の生分、救心に配合

毒性データ(LD50等)

bufalin LD50 0.74mg/kg i.v. mouse, 0.14mg/kg i.v. cat;

cinobufotalin LD50 0.18mg/kg i.v. cat 他

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか Yes

強心性ステロイド成分bufalin cinobufotalin他

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか Yes

インドールアルキルアミンのbufotenineが幻覚作用を示す

主要な二次代謝産物等

bufalin cinobufotalin resibufogenin, cinobufagin, gamabufotalin, telocinobufagin, hellebrigenin, arenobufagin, cinobufaginol, marinobufagin, resibufaginなどのブフォゲニン及びこれらの3-hemisuberateからなるbufadienolides他

主要な生理活性 強心作用、局所知覚麻痺作用、胆汁分泌促進作用、唾液分泌促進作用、胃液分泌抑制作用、抗炎症作用、呼吸及び中枢興奮作用他

強心、鎮痛、解毒薬

重要文献

Apoptosis, *Leukemia Res.*, 19 549 (1995)

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook なし ComE なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか(情報がある場合のみ)

評価:A

向精神作用のある bufotenine、毒薬相当の bufalin 等を含む。

名称 ゼンタイ

他名等 アブラゼミ、クマゼミ 英名 exuviae of cicada

部位等 蛻殻（ぜいかく）

備考 局外生規の正名はセンタイだが、欄外に正名にゼンタイを用いてもよいとの記載がある。

学名（科名） セミ科（Cicadidae）局外生規では、「スジアカクマゼミ *Cryptotympana tustulata* Fabricus 又はその他近縁動物の幼虫のぬけがらである」と定義され、さらに付録に、「その他同属動物（近縁とは書かれていない）とはカレイゼミ属 *Platylomia* spp.（ニイニイゼミ *Platylomia kaempferi* Fabricus）及びヒグラシ属 *Tanna* spp.を指す」と定義されている。

スジアカクマゼミ *Cryptotympana atrata* Fabr.の蛻殻とされるが、かつては *C. flammata* Distt の蛻殻であったという報告もある。日本産は主としてアブラゼミ *Graptopsaltria nigrofuscata* Motschulsky またはクマゼミ *Cryptotympana facialis facialis* Walker (= *C. japonensis* Kato)などの蛻殻であろう。（難波）

生薬名、基原動物和名等 スジアカクマゼミ等

医薬品として使用実態があるか Yes 局外生規 210処方消風散（皮膚疾患薬）に配合（医療用あり）

毒性データ（LD50等） LD50 >10g/kg oral mouse, LD50 150mg/kg i.p. mouse

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか Yes

N-acetyldopamine dimmers 下記文献参照

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか 不明

主要な二次代謝産物等

薬効成分未詳。キチン質の他、窒素7.86%、灰分14.57%（難波）

peptides, *Peptide Science* (2003), Volume Date 2004, 40th, 483-486 九大理

N-acetyldopamine dimers (*C. tustulata*) *Journal of Oleo Science* (2002), 51(5), 355-358

Two optically active N-acetyldopamine dimers together with four phenolic monomers, *Chemical & Pharmaceutical Bulletin* (2000), 48(11), 1749-1752 摂南大薬

24 amino acids and ethanolamine, *Fudan Xuebao, Ziran Kexueban* (1983), 22(4), 471-3

主要な生理活性

風邪などの発熱、悪寒に対し解熱薬 咽喉炎に消炎作用

止痒薬

重要文献

Noda, N. et al., *Chemical & Pharmaceutical Bulletin* (2000), 48(11), 1749-1752

その他注意すべき点

名称は局外生規の正名センタイとすべきでは。

Botanical Safety Handbook なし ComE なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：B

局外生規に収載され、また医療用の処方に配合されるなど、日本では、明らかに医薬品である。

名称 胎盤

他名等 シカシヤ 英名 placenta

部位等 ヒト胎盤 備考 ウシ・ヒツジ・ブタの胎盤は「非医」

学名(科名) *Homo sapiens* L. の胎盤 中国各地の産院から収集される(難波和漢薬)

生薬名、基原動物和名等 ヒト 生薬名 紫河車

医薬品として使用実態があるか 製剤の原料?

毒性データー (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

ポリペプチド、多糖類、酵素、ホルモンなど。低分子では、estrone, estradiol, estriol, progesterone, androsterone, deoxycorticosterone, 11-dehydrocorticosterone, cortisone, 17-hydroxycorticosterone, choline, 酵素として、lysozyme, kininase, histaminase, oxytocinaseなど (難波和漢薬)

主要な生理活性

胎盤には、 γ -globulin様物質を含み麻疹等の伝染病予防あるいは軽減に用いる。

強精、強壯薬として、インポテンツ、不妊症、習慣性流産、虚勞、遺精などに応用し、催乳の効がある(難波和漢薬)

安心・養血・益気・補精・解毒・補血の効能(本草綱目)

重要文献

その他注意すべき点

2005年7月14日、KFDAが慢性消耗性疾患薬として使われてきた紫河車を、病原性微生物の感染の危険があることから、局方外生薬規格から削除した。

Botanical Safety Handbook なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

estradiolは、要指示薬、指定医薬品

評価：A

特定生物由来製品であり、専ら医薬品として扱うべきである。

名称 胆汁・胆嚢

他名等 ウシ、クマ、ブタ 英名 Bear Bile (局方)

部位等 ウシ、クマ、ブタの胆汁・胆嚢 備考 コイ・ヘビの胆嚢は「非医」

学名(科名) *Bos taurus domesticus* Gmelin (Bovidae) ウシ科、*Ursus arctos* L. (Ursidae) クマ科、*Sus scrofa domesticus* Brisson (Suidae) イノシシ科 以上新訂和漢薬に別々に記載されている (p766, 771, 784)

生薬名、基原動物和名等 生薬名：熊胆 (ユウタン、熊の胆汁を乾燥したもの)

医薬品として使用実態があるか Yes (熊胆のみ局方収載)

毒性データ (LD50 等) cholic acid sodium salt LD50 164mg/kg (mouse, ip), cholic acid LD50 330mg/kg (mouse, iv), deoxycholic acid sodium salt LD50 123mg/kg (rat, ip), deoxycholic acid LD50 130mg/kg, ursodeoxychoic acid LD50 310mg/kg (rat, iv) 牛胆、猪胆には無毒との表記あり (新訂和漢薬)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No
主要な二次代謝産物等

cholic acid, deoxycholic acid, ursodeoxycholic acid (クマ)

主要な生理活性

胆汁分泌促進作用、胆汁酸の分泌促進作用により黄疸に応用され、また、苦味健胃作用による薬効を認める (新訂和漢薬)。

重要文献

その他注意すべき点

クマ科動物胆汁酸中の ursodeoxycholic acid の定量分析報告有[Hagey, L. R., *et al.*, *J. Lipid Res.*, 34, 1911 (1993)]. 国内流通生薬ユウタンの起原動物鑑定 (主としてブタとの区別) を目的とした分析報告有[Yokota, Y., *et al.*, *J. Trad. Med.*, 21, 231 (2004).]

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価：B

我が国では医薬品としての使用実態がある。

名称 バホウ

他名等 ウマ

部位等 胃腸結石 備考

学名(科名) *Equus caballus* L. (Equidae) ウマ科 [中薬大辞典 p 2167]

生薬名、基原動物和名等 馬宝 [中薬大辞典 p 2167]

医薬品として使用実態があるか No (中薬としての使用実態はある)

<内服>2~5分を研って粉末にして服用する。

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

成分不詳

主要な生理活性

驚を鎮め、清熱し解毒する、の効能がある。驚癇癩熱、痰熱内盛、神志昏迷、吐血、鼻出血、悪瘡腫毒を治す(中薬大辞典)。

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 無記載

The Complete German Commission E Monographs 無記載

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: D

成分不詳であり、判断材料がない。

名称 ボウチュウ

他名等 アブ

部位等 全虫 備考

学名(科名) *Tabanus bivittatus* Mats. [中薬大辞典 p 2383], *T. trigonus* Coq. *T. chrysarum* (chrysus) Loew. [新訂和漢薬 p 940] (Tabanidae) アブ科

生薬名、基原動物和名等 虻虫 [中薬大辞典 p 2383]、蜚虻 [新訂和漢薬 p 940]

医薬品として使用実態があるか Yes (国内流通有 (ウチダ和漢薬)、中薬としての使用実態がある)

<内服>0.5~1銭を煎じて服用する。また研って粉末にして服用する。また、丸剤、散剤にしても用いる。

毒性データ (LD50 等) 有毒との表記あり (新訂和漢薬)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

成分不詳

主要な生理活性

於を逐いやる、積を破る、経を通すの効果がある (中薬大辞典)。血液凝固抑制、溶血作用がある (新訂和漢薬)。

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 無記載

The Complete German Commission E Monographs 無記載

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : D

成分不詳であり、判断材料がない。

名称 リュウコツ

他名等 英名 Longgu (局方)

部位等 古代哺乳動物の骨の化石 備考

学名(科名) 大型ほ乳動物の化石化した骨で、主として炭酸カルシウムからなる(局方)、*Cerevus punjabiensis* Brown (Cerridae) シカ科、*Palaeoloxodon namadicus* (Falc. & Cault) (Elephantidae) ゾウ科 (正倉院御物の基原：漢方 210 処方 生薬解説、p114)

生薬名、基原動物和名等 竜骨

医薬品として使用実態があるか Yes 局方収載、中薬では内服、外用双方で用いる

210処方中の配合処方：(2 処方) 桂枝加竜骨牡蛎湯、柴胡加竜骨牡蛎湯

毒性データ(LD50 等) calcium phosphate LD50 3,986mg/kg (rat, oral), calcium carbonate LD50 6,450mg/kg (rat, oral) 無毒、あるいは有小毒との表記あり(新訂和漢薬)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

海綿質部にはCaCO₃ (46-82%)、少量のhydroxyapatite [3Ca₃(PO₄)₂ · Ca(OH)₂]を含有し、緻密質層にはCaCO₃ (5-12%)、多量のhydroxyapatite [3Ca₃(PO₄)₂ · Ca(OH)₂]を含有する。両質部に微量のSiO₂を含有する(和漢薬百科図鑑II、p356)。

主要な生理活性

精神安定をはかり、痙攣発作を鎮める(漢方210処方 生薬解説、p114)。止血、肌を生かし、瘡を斂める(中薬大辞典、p2684)。止汗、鎮静、止痢(新訂和漢薬、p803)。

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 無記載

The Complete German Commission E Monographs 無記載

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか(情報がある場合のみ)

評価：B

局方収載生薬で漢方処方にも配合されており、重要生薬であることから専ら医薬品とすることが望ましい。

名称 レイヨウカク

他名等 サイカレイヨウ

部位等 角 備考

学名(科名) *Saiga tatarica* L. [CP, 中薬大辞典 p 2738], *Capricornis crispus* Temm. [新訂和漢薬 p 796]
(Bovidae) ウシ科

生薬名、基原動物和名等 サイカレイヨウ (賽加羚羊) 生薬名: 羚羊角

医薬品として使用実態があるか Yes (国内一般医薬品 (宇津救命丸) に配合、CP収載、中薬では内服で用いる)

<内服>3~5分を磨った汁を服用する。あるいは、0.5~1銭を煎じて服用する。または丸剤か散剤にして用いる。

毒性データー (LD50 等) keratin LD50 45mg/kg (rat, iv) calcium phosphate LD50 3,986mg/kg (rat, oral)

無毒との表記あり (新訂和漢薬)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

keratin, リン酸カルシウム (中薬大辞典、p2738)。角質タンパク、不溶性無機塩類 (和漢薬百科図鑑II、p285)。

主要な生理活性

肝を平らかにする、清熱し驚を鎮める、解毒する、の効果がある (中薬大辞典)。

腹痛、難産、痢疾、悪瘡、中風 (新訂和漢薬)。

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 無記載

The Complete German Commission E Monographs 無記載

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: B

我が国では医薬品としての使用実態がある。